

# 第一回企業活性化研究分科会・議事録

<第一回 2007年6月16日 時間:13:30~17:00 於:専修大学(神田校舎)2号館>

1. 参加者: 太田、山本、井端、古山、大野、飯高、渡辺、大柳、横山、星野、木村  
小嶋、石崎、森井、魚谷

2. テーマ: 粉飾と企業活性化の検討

3. 討議内容

テーマ: 『粉飾と企業活性化の検討』

・報告者: 井端 和男氏

・配布資料: 「粉飾と企業活性化」についてのレジュメ

・報告内容

粉飾は企業活性化の大敵であり、粉飾発見技術の更なる向上のためのツール及び事例分析を交えて報告されました。

まず、粉飾発見のためのツールとして、①各種財産比率、②回転期間、③基礎資金、④キャッシュ・フローの四点を挙げそれぞれについて説明していただきました。

次に、事例分析としてミサワホーム九州、アイ・エックス・アイ(IXI)の二つの企業の例を上げ、それぞれの粉飾の内容および粉飾をどのように発見することができるのかということを解説されました。

・質疑応答・意見交換

➤財務諸表分析で企業のマイナスのリスクを見抜くことができるのか。

一般的には、その他の情報と組み合わせなければ不可能である

➤内部統制では経営者の不正を止めることは不可能ではないか。経営者の不正を止めるにはどうすれば良いのか。

4. その他

学会として継続企業概念を統一するため、「継続企業概念」に関する論文を17本配布し、各自発表の順番、日程を決めました。

(文責: 菅原智久)